

自宅でできるコロナ対策 —住宅の正しい換気—

外出の時は、マスクや消毒液、ソーシャルディスタンスが欠かせない世の中になりました。ご自宅におけるコロナ対策はしっかりされていますでしょうか？そろそろ夏も本番を迎え、エアコンをつけていると気にならないかもしれませんが、エアコンでは換気はできないので注意が必要です。

住宅での換気の知恵

①24時間換気システムがある場合は、きちんと活用しましょう！

24時間換気システムとは、お風呂やトイレ、洗面所などの換気扇を使って換気口から汚れた空気が排出し、壁や天井についた給気口から外の新鮮な空気を取り込むことで、室内の空気を新鮮に保つことができる仕組みです。しかし、外気が冷たい・暑いために給気口を閉じてしまっていたり、節電のため24時間換気のスイッチをオフにしてしまっているケースが非常に多くなっています。また、壁の給気口の前に家具を置いたりすることも効率的な換気の妨げになりますので、給気口は開けた状態で、24時間換気システムのスイッチは常にオンにして正しくお使いください。



●24時間換気システムのスイッチ例

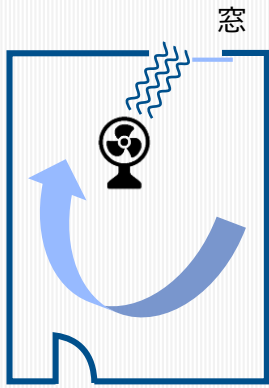


●壁の給気口の例

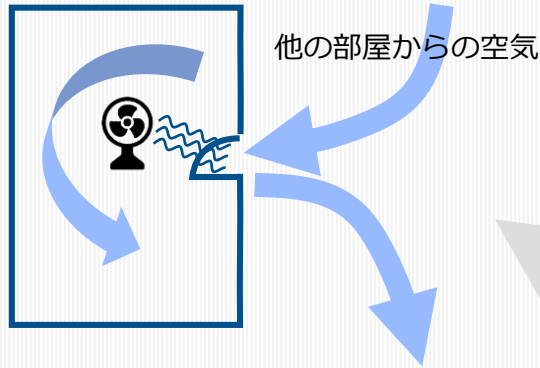
②窓を開けて、風の通り道をつくりましょう！

窓を開けて換気をする時の時間と回数の目安は、1時間に5～10分程度とされています。1つの部屋に複数窓がある場合は、2ヶ所以上の窓をあけることで風の通り道となり、更に部屋の対角にある窓を開けるとより効率的です。また、風が入りにくい部屋の場合は、風向きによって少しでも風が入りやすい窓を少し開け、反対側の空気が出る側の窓を大きく開けると、風の性質によって気流が生まれやすくなるのでオススメです！

窓が一つしかない・あるいはまったくない場合は、扇風機を活用して空気の流れを助けてあげましょう。部屋のドアを開けて、扇風機を窓の外に向けたり、室内からドアに向かって扇風機を回すことで他の部屋から流れてきた空気を効率的に外に出すことができます。



●窓が一つしかない場合

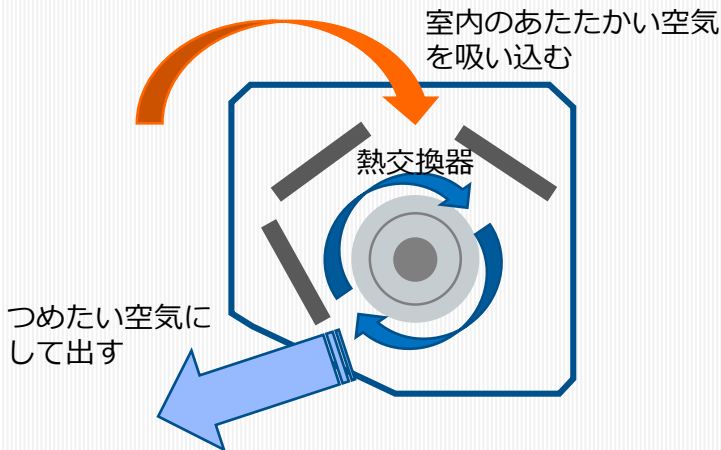


●窓がない部屋の場合

いずれの場合も、トイレや台所の換気扇を同時に回すとより効果的です！特に台所の換気扇は最も排気量が多く、短時間でたくさんの空気を入れ替えてくれます。この時、換気扇から離れ場所にある窓をあけると◎

エアコンは換気できない？

エアコンから出ている空気は、実は外から取り入れたものではなく、「部屋の中の空気を吸い込んで」、その空気を冷たくしたり温くしたりした後に「部屋の中に戻」しています。つまり、ほとんどのエアコンでは換気はできないので、必ず窓を開けたり換気扇を活用しましょう！



●エアコンの仕組み（冷房の場合）



帰宅したらまず窓を開けて換気をしてから、エアコンの冷房を入れましょう！

リフォーム工事のご用命は八清まで！

24時間換気システム付のキッチン換気扇や、その他換気装置の取付は八清にご相談ください！

その他、水回りのリフォームや、庭にウッドデッキをつくるなど、いつもの修繕より大がかりな工事も承っております。詳しくは、担当のアフターメンテナンススタッフまで★

